

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（血液など）や診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用 目的及び利用方 法	●研究の名称 びまん性特発性骨増殖症における脊椎損傷の研究 ●研究の対象 2015年4月1日～2022年3月31日に当院でびまん性特発性骨増殖症における脊椎損傷をきたし治療を受け、同意をいただいた方 100名 ●研究の目的 脊椎（せぼね）が加齢とともに固くなることを“強直”といいます。多くは加齢とともに中高年以降に起こることが知られていますが、その原因はまだよくわかっておりません。びまん性特発性骨増殖症とは、この強直が多く発生して脊椎を含む全身の関節が固くなる病気です。多くの場合は体が固くなるなど脊椎が固まり動きが無くなることで、転倒などのちょっとした外傷により脊椎の骨折をきたすことが知られています。いったん脊椎に骨折をきたすと麻痺が出現したり、骨折が徐々にずれてくることから治療が難渋することが知られていますが、いまだにこのような患者さんの報告が少ないためにその詳細は明らかではありません。 本研究では、このような方をお願いをして多くの患者さんの情報を調べることで麻痺の進行や予後の予測が可能になれば、コルセットなどの保存的治療や手術を含めた治療方針の検討に役立つ可能性があります。今回の研究の解析結果を今後の治療に役立てたいと考えています。 ●研究の期間 2015年4月1日から2022年3月31日まで ●他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関である慶応義塾大学へのデータの提供は、記憶媒体（DVD）に保存し、郵送で行います。記憶媒体
-----------------------------------	--

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当大学の個人情報分担管理者が保管・管理します。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	●研究に使用する試料・情報： 試料・情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号、X線およびCT、MRIなどの画像の提供 等
利用する者の範囲	●共同研究機関の名称及び研究責任者 慶応義塾大学医学部 整形外科学 教授 松本守雄 慶応義塾大学病院 実施機関病院 46 機関 厚労科研脊柱靱帯骨化症研究班
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	●研究責任者 慶応義塾大学医学部 整形外科学 教授 松本守雄
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。
問い合わせ先	〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

	浜松医科大学医学部附属病院 診療科：整形外科 担当者：整形外科 診療助教 安田達也 TEL：053-435-2299 FAX：053-435-2296 E-mail：togawa@hama-med.ac.jp
--	--